徳佐小だより

山口市立徳佐小学校　令和４年(2022 年)　２月号Ｎｏ.10

学校教育目標　**ふるさとを愛し　未来を拓く　たくましい「徳佐っ子」の育成**　～「夢」「自信」「活力」を育み、一人ひとりがかがやく教育の推進～

今年度最後の参観日から

２月１５日（火）に今年度最後の参観日を行いました。新型コロナウイルス・オミクロン株が猛威を振るっており、中止も考えましたが、子どもたち、各担任ともに今年度最後の参観日で、今年１年間の成長やがんばった姿を保護者の皆さんに見せたいという思いを強くもっており、悩んだ末に、１週間前からの検温、体調チェックや換気等の感染対策を講じながら実施することにしました。ご理解、ご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

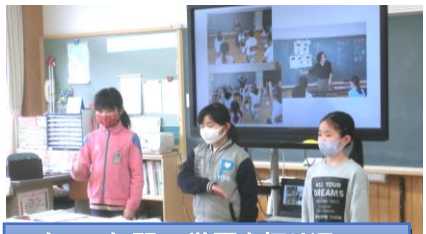
４年生の教室では「二分の一成人式」を行い、子どもたちはこれからの決意を述べたり、これまで温かく支えていただいたおうちの方に感謝の気持ちを手紙や歌などで伝えたりしました。最後に、サプライズでおうちの方から子どもたちに手紙があり、子どもたちは食い入るように読んでいました。きっと大切な一生の宝物になるのではないかと思います。他の学年の子どもたちも同じように１年間の思い出や学習の成果の発表をして、おうちの人に成長した姿を見せようとがんばっていました。子どもたちの一生懸命な姿を見ると私の胸にも熱くなるものがこみ上げてきました。

日本人は、その国民性からか愛情表現、思いを言葉で伝えることが苦手と言われています。そういう私もその一人で、子どもが巣立っていってしまった今になって、もっと子どもに思いを伝えておいたらよかったなと思うことがあります…。子どもは、居てくれるだけでありがたいものです。そして一緒に暮らせる時間は意外と短いものです。がんばったときは大げさにほめ、特別なことがなくても温かな言葉をかけてやりたいものです。安心感や自己肯定感の高い子は、様々なデータからも、困難に立ち向かう力が強いと言われています。子どもは、時には憎たらしいことを言ってみたり困らせてみたりもしますが、それは親の愛情を無意識に確認しているのかもしれません…。昔、子育ては「苦る楽しい」という言葉を聞いたことがあります…。しっかり温かな言葉のシャワーを子どもに浴びせ、子どもと居られる幸せな時間を楽しんでいただけたらと思います。授業を見ながら、そんなことをふと考えました…。　（校長　山田英二）

1，2年できるようになったことの発表

4年　1／2成人式　1／2証書授与

5，6年　家族に感謝の気持ちを　合奏


3年　１年間の学習を振り返って
英語クイズ他

4年　1／2成人式
感謝の手紙＆親から子へ

5，6年　家族に感謝の気持ちを
これからの決意発表

変わりゆく徳佐小…来年度以降に向けて

愛育会臨時全体会

今後の学校規模の縮小、児童・家庭数の減少により、愛育会活動や組織も従来のままではたち行かなくなることが予測されます。そこで2月15日に、令和5年度の完全複式化を見据え、今ある3専門部会を2部会に変えたり、活動内容を見直したりなど、執行部と学校で協議した今後の方向性を会員の皆さんに伝え、持続可能な愛育会について考えました。令和5年度には児童数が27，家庭数が20になる予定です…。

第3回学校運営協議会

2月15日に今年度最後の学校運営協議会を開催し、委員の皆様より、今年度の学校の取組について、ご意見や評価をいただきました。複式授業、地域とのつながり、食生活や読書に関すること、小中連携など様々な視点からお気づきをいただきました。やはり、ここでも話題の中心は児童数が減っていく徳佐小の今後についてでした。今回のご意見を来年度の学校運営に反映し、地域と共にある魅力ある学校作りに生かしていく所存です。

第3回　校内授業研究会　～複式授業づくり～

2月2日に、複式授業研究会を行いました。今年度は、全教員が複式学級、複式授業の理解を深め、授業力を高めることを目的に、1，2年複式学級を使って、担任はもちろんのこと、担任以外の教員が授業案を考え、授業を行うことにしました。第3回目の今回は、6年担任の杉教諭が授業をしました。入念な授業計画を考え、授業に臨みましたが、やはり担任ではなく、また普段複式授業をしているわけではないので、授業計画通りにはいきませんでした。授業後の協議会では、多くの課題と改善策が他の教員から出されたことに大きな意味がありました。一人で2学年を同時に教える複式学級。確かに指導の難しさはありますが、軌道に乗れば子どもたちに今求められている主体的な力を育むことができます。複式授業ではどうしても、子どもたちだけで学習を進めていかなければならない時間があります。一見マイナスのように思えますが、実はそこが、一番子どもたちが伸びる時間なのです。その時間をいかに充実させるかが、複式授業の鍵です。今後、子どもたちの学びに向かう力、話し合う力を育むこと、そして学び方を身につけさせていくことを全員で確認しました。きっと今の1，2年生が5，6年生になる頃には、しっかりと自分たちで授業を進める姿が見られるのではないかと思っています。

3月　主な行事予定

２日（水）六年生を送る会　委員会活動
３日（木）はやしだ　貯金日
４日（金）GKP（学力向上プログラム５年）
７日（月）はやしだ
８日（火）短縮時程
９日（水）どんぐり
１０日（木）校納金　はやしだ
１１日（金）GKP５年　＊阿東東中学校卒業式
１５日（火）交通指導　短縮時程
１６日（水）卒業式予行
１７日（木）卒業式前日準備
１８日（金）第１６回卒業証書授与式
２２日（火）阿東東中仮入学
２３日（水）はやしだ
２４日（木）給食終了
２５日（金）修了式　集団下校
３０日（火）お別れ式

＊延期や中止等、急遽変更する場合があります。

珍しいお客様に興味津々！ ～アブサンショウウオ～

２月８日に阿武地域一帯にしか生息しない希少生物の「アブサンショウウオ」を嘉年の佐々木分館長さんが子どもたちに是非紹介したいと持ってきてくださいました。このアブサンショウウオは嘉年の休耕田で見つけられたそうです。水がきれいで自然豊かな地域だからこそ見られる生き物です。放送で呼びかけるとたくさんの子どもたちがホールに集まり、興味津々で話を聞いたり、実物を見たりしていました。子どもたちからは「かわいい！」という声が聞かれました。しばらくしたら自然に戻されるそうです。豊かな自然は、嘉年・徳佐地域の自慢です。子どもたちの心にもそのよさを留めておいてほしいなと思いました。